

動き

特別委員会

議会は最大限の努力を！ 秋田内陸縦貫鉄道存続に関する 調査特別委員会

11月18日開催の第10回特別委員会において、特別委員会での「経過について」を全員協議会の場で説明することが決定され、議長に対しその開催を要請し、11月25日全員協議会が開催された。

委員長より特別委員会での10回に及ぶ会議の経過説明がされ、質疑の後



最大限の努力を決定した
内陸線存続

議員から意見が出され、集約の結果、仙北市議会として内陸線存続に関する意思表示をすることとまとまった。

内容については、議長と特別委員会委員とで議長からの試案について協議し、満場一致により議長の試案について決定され、議長案が全員協議会の場に示され、議会の意思として表明することとなった。

「再生計画の実現に向け最大限の努力をすることを確認」

- 一、経常損失等の負担割合の見直し
- 一、公有民営化方式の是非論
- 一、観光路線化への改善と方策

以上3項目については速やかに関係機関と協議することと合意した。

市立病院等経営に関する 特別委員会報告

特別委員会は、平成20年12月定例会に中間報告を提出した。その主な内容は、市立病院等改革推進計画策定委員会では田沢病院と角館総合病院の経営、管理の一元化病院事業管理者設置のほか、田沢湖病院の診療所化の方向が示されたことから、市民への説明会と意見募集が実施された。その多くは、田沢湖病院の存続、救急再開、医師確保、経営改善などである。

特別委員会では、田沢湖病院は外来機能を重視した診療に、日中救急を再開するという説明であるが、これまでと変わらない医療スタッフ体制になるのではないかと、田沢湖病院長より、障害者施設等一般棟棟化で経営改善を図る提案は重く受け止め、3年間、場合によっては5年間の移行期間があることから施行の結果、最終決断でき



病院存続・救急再開で論議中の市立田沢湖病院

るのではないかの提案がされた。改革は5年間の移行期間があり、田沢湖病院からの提案は一定のトライアル期間を設けてやっていたら必要もあるし、改革プランは軌道修正することもやぶさかでない。当然行政なり議会が検討の上、進めて行くことになる。

桜まつり臨時駐車場料金の 事務処理に関する調査特別委員会 監査請求決議を議決！

平成19年度桜まつり臨時駐車場料金の不適切な取り扱いは、9月定例会の市政報告で明らかに

なった。議会は地方自治法第98条による事務検査が必要と判断した。特別委員会が設置され、質問書を基に事実解明にあたった。

シルバー人材センターへの支払額113万690円の取り扱いである。補正予算措置もせず、おまつり実行委員会から借用して支払いを済ませたが、その借入金に戻すため、本来一般会計に入る駐車場料金88万円を別



不認定の原因となった
桜まつり臨時駐車場

通帳に管理し、職員の積立金25万690円と合わせ穴埋めをした。

平成19年度一般会計は88万円が歳入欠陥となった不適正な決算となった。また職員の不始末とはいえず、法的にはありえない職員の自己負担で穴埋めをした。この事実についても当局は認めた。この二つが会計法上違法であり、不適正な決算処理として、担当職員を相当の処分をした。特別委員会はさらなる解明を監査に託し、議会最終日に監査請求を多数決で議決した。